

令和2年度入試（推薦入試Ⅰ）試験問題

小論文（出題意図）

《教育学部 学校教育課程Ⅱ類》

問題文は、鈴木翔著『教室内カースト』の中の一部分である。この箇所において著者は、日本のいじめが教室において集中的に発生している点を踏まえて、「閉じた空間」という観点からそれを特徴づけている。そして、教室を「閉じた空間」でなくするための解決策の一つとして、「自分で受けたい授業を選択して、教室を固定せずに、科目ごとに教室を移動して、科目ごとに履修するメンバーが変化するような」「個人カリキュラム化」の提案を紹介している。

問1では、該当箇所に掲載されている「いじめの発生場所の国際比較」の図を正確に読み取り、ヨーロッパ諸国と比較しながら、日本のいじめの特徴について定められた文字数内で論理的にまとめる能力を評価する。

問2では、問題文全体の趣旨を読み取った上で、「個人カリキュラム化」の提案に対して、自分の教育経験も踏まえながら、定められた文字数内で論理的かつ明確に自分の考えを文章表現できる能力を評価する。